

# 1 自己評価及び外部評価結果

(ユニット名 1F )

事業所番号	0670400969		
法人名	株式会社 ジェイパック		
事業所名	グループホームもも太郎さん 米沢		
所在地	山形県米沢市通町5丁目3-46		
自己評価作成日	令和 2 年 2 月 10 日	開設年月日	平成 16 年 2 月 16 日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設の運営理念である「自由」と「家族の絆」の下、各入居者様がこれまで培ってきた生活スタイルを尊重し家庭的な雰囲気の中で、楽しく張り合いのある生活を送って頂ける様支援しております。また、昨年度より常勤看護師を一名配置し、各入居者様の毎日の健康管理はもとより、医療的なケア、看取りケア等にも積極的に取り組んでおります。

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形県山形市小白川町二丁目3番31号		
訪問調査日	令和 2 年 3 月 3 日	評価結果決定日	令和 2 年 3 月 24 日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

もも太郎さん米沢は地域と共に17年の歴史があり、変化する社会に対応すべく職員は日々内・外部の研修に励んでいます。利用者の高齢化が進み最期までここで暮らしたいと希望する方も増えており、そのため看護師を配置し、看取り体制の構築に取り組んでいます。利用者は協力しながら出来ることを継続し、「楽しみごと」が一つでも増えて笑顔に繋がるよう家族等の協力も得ながら暮らしています。運営推進会議で頂いた情報や意見を運営に活かし、議事録の見直しを図り参加者や家族等にも広く開示してより活発な会議に繋がるよう取り組んでいる事業所です。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
55	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	62	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
56	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,37)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	63	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
57	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
58	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:35,36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:48)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:29,30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
61	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	本社により「理念」「接遇スローガン」に基に、施設独自の理念の実践に繋げております。	法人理念、接遇スローガン、事業所理念を掲げ職員はそれらを常に心に留めて日々のケアに取り組んでいる。美味しかった・楽しかったなどの笑顔が見られるように「あなたの笑顔が私の鏡です」を実践している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事には体調に配慮しながら、清掃等に参加し交流を行っております。町内の方々にも施設の行事に参加して頂くよう努めております。	町内会に加入して回覧板や住民の方から地域の情報を貰い、盆踊りや運動会などの行事に出かけ交流している。職員は自治会役員として総会にも参加し、また利用者と一緒に町内の清掃活動を行い地域の一員として暮らしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症については理解されているが、グループホームもも太郎さんの施設としての理解はまだ浸透されてはいない。色んな面で理解出来るよう努めていきたいと思っております。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しています。町内会長、民生委員、市職員、入居者様、御家族様からの意見要望を伺い、施設内で活用によりよいサービスが出来るように努めています。	会議への参加メンバーが少ない悩みがあり、多くの方に参加してもらえよう取組みを進めている。活動内容や利用状況、ヒヤリハットなどを報告し、参加者よりアドバイスをもらいサービスに反映し、議事録を整備し参加者からのコメントも記入して、より分かりやすい結果報告となり開示している。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市より介護相談員の訪問を受け入れております。入居者様の様子を見て頂き、意見をもらい、楽しく生活できるようサービス向上に努めております。	生活保護の方を受け入れており、市の担当者とは連絡や相談を密に行い、またその他の情報を得るなど連携している。介護相談員の訪問もあり気づきを貰っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる</p>	<p>玄関の施錠は夜間帯だけで、日中はドアのチャイムを設置し、外に行かれたのが解るように、自由に動けるように安全面には十分に気を付けています。又全職員が身体拘束廃止の指針に基づき、理解を話し合いをもちながら、入居者様の尊厳を尊重したケアに努めるようにしております。</p>	<p>職員は身体拘束廃止マニュアルに基づいて、理念に沿った自由な暮らしを守るために研修を重ねて学び、利用者に寄り添っている。3か月に一回委員会を開き拘束についての事例検討を行い、リスク管理に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内に教育委員会を設置しており、委員会を中心として勉強会を行い周知徹底しております。また、心に余裕を持ちながら業務にあたるようにしております。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>施設内に成年後見制度を活用している入居様もあり、制度についてを学び理解し支援をしております。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時や解約時は、ご家族様が納得して頂けるよう十分に説明を行っております。</p>		
10	(6)	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>担当職員を付け、ご家族様が面会時の時など、要望を伺いようにしております。また、玄関先に意見箱設置しておりサービス向上に努めています。</p>	<p>家族等には家族交流会や面会時に事業所側から日頃の生活の様子などを話し、意見や要望を聞く機会を設けている。季刊紙「えがお」で活動内容を報告し、また年2回アンケートを実施して満足度アップを図っている。</p>	
11		<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>常に、職員の意見を聞き、良い環境作りが出来るよう反映させております。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実施されている、働き方改革に従い、職員のやりがいのある仕事、やりがいのある職場環境や整備等にも取り組んでおります。		
13	(7)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、職員会議で30分間の勉強会を行っています。又、外部研修に積極的に参加し、介護技術の向上も図りながら情報共有しサービスに努めております。	毎月の職員会議の中で内部研修を行い介護の質向上を目指している。外部研修や会社の研修体制も充実しており伝達研修を受けて、全職員が報告書を提出し共通理解に努めている。働き方改革として有給休暇の連続取得も可能となり職員のモチベーションアップに繋がっている。	
14	(8)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	米沢市や市内各病院主催の研修に参加し、意見交換などを行いサービス提供の質の向上に繋がっております。	置賜と山形のグループホーム連絡協議会へ参加し情報を得ている。医師会主催の研修会では他事業所の職員と話せる機会があり、互いの取り組み等について情報交換し気づきを業務に活かしている。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に事前面接を行い、ご本人様の思いや要望をお聞きし、不安を軽減できるように、コミュニケーションや会話を通し、安心出来る関係づくりに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面接(アセスメント)の段階でご家族様のサービス利用に対する不安や要望を傾聴しより良い関係の中でのサービスが提供できるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面接(アセスメント)やその後の関わりを通じてニーズを見極め、過不足の無いサービス提供に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の生活意欲を引き出す為に、ご本人様の出来る事、したい事を尊重し、家事などご本人様と職員がお互いに協力し合える体制づくりに努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	「家族の絆」を理念とし、面会時や電話、ニュースレターなどご家族様との密な情報の交換などで、ご本人様をどう支えていくかを一緒に協力しあい、信頼関係が築きあえるように努めております。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々との交流を引き続きできるよう、気軽に足を運んで頂ける環境を整えたり、働きかけを行っております。また、馴染みの場所へドライブへに行ったり思い出を大切に思えるような支援しております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が日々楽しく生活して頂ける様に、職員も関わり合い共に支え合える関係が作れるように努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も御本人様や御家族様から相談があればその都度対応し必要に応じて解約後のフォローにも対応しております。また、契約終了後も御様子については情報を頂くこともあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	調査時に生活歴やご本人様の希望を傾聴したり、またはご家族様からもこれまでの生活をお聞きし、ご希望に沿う形で生活を支援していけるよう検討しております。	利用者一人ひとりの暮らし方について本人・家族等からの要望を把握し、本人の望んでいることが実現できるよう支援している。また生活歴や病院からの情報をもとに、安全に配慮しながら今まで得意としてきた事や趣味などが継続できるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族様の面会時等において、これまでの生活様式や環境などを意識して聴き取るように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は日々の業務の中で入居者様生活の変化や心身の状態に気づきを持つ事で現状を把握に努めております。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のモニタリングと、3ヶ月おきのカンファレンスを行い、課題や問題点などを話し合い、現状に合った支援計画を作成しております。	利用者本人をよく見て今何が一番大事なのかを見極め、毎月担当者から成果を聞き、全員で評価し次の計画に反映させている。さらに利用者・家族等の要望も伺いながら、多職種連携で取り組んでいる。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は生活支援計画を基に記入し、日々の変化や気付いた点などを記入して職員間で情報を共有しております。			
28		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	6月～10月の第1日曜日に入居者様の体調を考慮し、町内清掃に参加しております。ご本人様、地域の方との作業での触れ合いながら、楽しみを持つことが出来るよう支援しております。			
29	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全入居者様、月1回訪問診療に来て頂いています。他科受診は御家族様や職員が通院支援を行っています。急変時には、看護師を中心にかかりつけ院と連携しながら指示を仰ぎ、適切な医療を受けるようにしています。	利用者全員が協力医による月1回の訪問診療を受けており、医師とは24時間オンコールで対応してもらい、他科受診は家族等の同行で行われている。日々の体調変化については看護師と職員が情報共有し、変化時は主治医の指示を仰いで適切に対応している。		
30		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の下で、介護職員が日々の様子を把握し、気づきをもって確認し、変調時にはかかりつけ院に報告し指示を仰ぐようにしています。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は2日に1回面会に赴き、その都度状態を聞き状況把握に努めています。退院に向けての病院関係者やご家族様とのカンファレンスを行っています。お歳暮やお年始などの挨拶でも関係づくりを努めています。</p>			
32	(12)	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や看取りには関しては、看護師を中心に職員研修をおこなっております。また、ご家族様には十分に話し合いを重ねており、主治医にも報告し、指示を仰ぐように支援に取り組んでいるところです。</p>	<p>看取りの実施に向けて、家族等には早期の段階から話し合いを持ち、主治医と連携を図り指示等の内容報告も行っている。看護師からは重度化した場合の対応や看取りについての研修を受け指針も作成し、職員全員で取り組んでいる。</p>		
33		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事業所で教育委員会を設置し、ヒヤリハットや事故防止の対策をしています。急変時や事故発生時についてのマニュアルを作成し、対応ができる様になっています。</p>			
34	(13)	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いのもとで年1回避難訓練を実施しています。また、事業所だけで2ヶ月に1回火災以外の緊急災害についての訓練を実施し安全に避難できるように取り組んでいます。災害マニュアルを作成しており、職員間で共有しております。</p>	<p>災害時マニュアルを作成し職員間で共有して、火災・水害・地震、日勤・夜勤帯の訓練を定期的に行っている。廊下にヘルメットを準備し、いつでも使用できるようにしており、災害等の備品も備えて、安全に対応出来るよう取り組んでいる。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
35	(14)	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーの確保にも努めております。丁寧な言葉掛けやその方に合った声掛けをし羞恥心、自尊心にも配慮をした対応を行っています。</p>	<p>一人ひとりの個性を尊重し利用者への尊敬・感謝の気持ちを忘れず、その人に合った細やかな声かけを行っている。プライバシーを守りその時々本人の思いや気持ちを大切に支援している。</p>		
36		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の生活が和やかで、ゆったりとした空間になるよう心掛け入居様が御自分の思いや希望を自由に言葉にでき、御自分で決められるよう支援しております。</p>			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様御一人ひとりのペースに合わせた支援を行い、日々の生活を楽しく過ごして頂ける様心がけております。		
38		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御本人の好みを尊重し、共に考え、皆様が季節に合った衣類になるよう心掛けています。2ヶ月に1回理髪店の訪問をお願いし、身だしなみには気を付けております。		
39	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と楽しく会話しながら、調理する食材の下準備、テーブル拭き、食後の片づけなど各入居者様の出来る範囲の中で行って頂いております。	献立は職員が1週間交替で作成し、調理は職員が行い、利用者は出来る範囲で下ごしらえや片付け等に参加している。家族等から野菜などの差し入れもあり、利用者は季節が感じられる行事食や寿し・ラーメンなどの外食も楽しんでいる。	
40		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取量、水分量を把握し確認しながら、少なければ声掛けをしたり、苦手な食材があれば代替等を準備し提供しております。		
41		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアが確実に出来る様、洗面所までの移動、歯磨きへの支援、声掛け、働き掛けを行っています。義歯の方についても夜間の入れ歯洗浄剤による洗浄を行い清潔を保っております。		
42	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の心身状態に合わせて、定時でのトイレ誘導、声掛けを行っています。ご自身でトイレに行かれる入居者様については排泄後に確認を行っています。声掛けの際には羞恥心に配慮し、耳元でゆっくり話すようにしております。	水分・食事量・血圧・脈拍・体温・入浴・排便が記載されたチェック表を活用し、一人ひとりにあったパターンを把握して定時誘導を行い、トイレでの自立に向けた排泄に取り組んでいる。	
43		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の献立にはできるだけ食物繊維を取り入れた食材を使用するよう工夫をしております。また、看護師が主治医に相談し指示を仰いで、排便コントロールを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
44	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日提供しておりますが、体調を考慮しながら、一人一人の好みに合わせた温度などで、気持ちよく入浴して頂ける様に配慮し、見守りや声掛けなどで安全に入浴できるよう支援しています。	一人ひとりの希望や体調に合わせて毎日入浴の方もいる。拒否のある方には足浴等で対応し、声かけや時間をずらして、職員を変えるなど工夫している。一人で無理な方には二人体制で安全に気持ちよく入浴できるよう支援している。		
45		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣を知り、休息したい時には安心して休息できるように支援しております。夜間は居室の温度や湿度確認、就寝状況の確認をして気持ちよく眠れるように配慮しております。			
46		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は入居者様全員の薬を把握し、服薬前には日付と名前をご本人様の前で読み上げ、服薬後は薬袋を一週間保管しております。また、誤薬防止の為に朝の薬袋には赤線、夕の薬袋には青線を引き誤認防止に努めております。			
47		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月の行事を通じて、気分転換を図っております。入居者様個々の力やペースに応じて、家事や、体操・塗り絵等のレクリエーションに参加して頂き、楽しみを持ち、役割意識を持って過ごして頂いております。			
48	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季を感じられるよう、近隣を散歩したり、お花見・ツツジ・新緑・紅葉ドライブ等々に外出が出来る様に支援を行っております。	利用者一人ひとりの体調を考慮しながら日向ぼっこや近隣の散歩など、外気に触れる機会を多くし気分転換を図っている。家族等の協力を得て花見や紅葉等のドライブに出かけ四季折々の変化を感じ楽しいひと時を過ごしている。		
49		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族に連絡し、御希望の物、必要なものがあれば、相談し、立替にて購入させて頂いております。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の思いや希望にて、御自宅や御家族様に電話を取り次いでおります。また、御自身で携帯電話を所持している入居者様も方もおられ、取り方が分からない時は介助しております。			
51	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じて頂ける様、装飾も季節毎変え、温度や湿度管理に気を使い、過ごしやすいように工夫をしております。		ホールには季節の花が生けてあり、また随所にソファを置いて利用者一人ひとり自由にのんびりと過ごせるよう居場所作りをしている。利用者同士の相性を考え、時々席を替えて穏やかに過ごせるよう配慮している。	
52		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様複数で一緒に過ごしたり、お一人でゆったりと過ごしたり、皆で体操や歌番組・DVDを観たり、思い思いの過ごし方ができる空間づくりに努めております。			
53	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前から過ごしてきた環境に近づける為、仏壇やテーブル、家具など馴染みのものを持って来て頂き、ご本人様が落ち着き安全に過ごされるような空間作り心がけております。		落ち着いて暮らせるように使い慣れたものや思い出のあるものを持参し、つまずきや転倒に注意して家具・ベッド等を配置している。居室は利用者の体調面を考慮しながら職員と一緒にモップ掛けや掃き掃除などを行い清潔に努めている。	
54		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーとなっており、廊下、トイレには手すりが付いており、御自分で安全に移動ができるようになっております。また、居室やトイレにはわかりやすいように目印をつけ、御自分で移動できるように工夫しております。			